

スマート見守り社会実験

よくある質問と答え

明治地区郷土づくり推進会議 子ども子育て部会

Q: 参加に費用はかかりますか？

A: 見守りサポーター（見守る側）は、スマートフォンのパケット代はかかりますが、アプリの利用料などはかかりません。パケット代も動画再生などに比べると、非常に少なくなっています。見守られる側（子どもたち）は、子どもたちが持つタグの費用がかかります。社会実験に際してのタグの費用負担については、現在検討中です。

Q: 今回募集するのは、見守りサポーターだけでしょうか？

A: まずは、1000人チャレンジとして見守りサポーターを募集します。見守りサポーター1000人が達成できたら、子どもたちにタグを持たせた社会実験を実施する予定です。

Q: 子ども用にタグを自分で購入して、見守ってもらう事はできますか？

A: 登録の作業は必要ですが、可能です。

Q: 以前の社会実験に参加してタグを持っていましたが、子どもが中学校に上がったため、タグが不要になりました。リサイクルできますか？

A: 今後、お譲り・リサイクルの仕組みができないか、検討しています。

Q: 子どもにGPS端末を持たせるのと、何が違うのでしょうか？

A: GPS端末を利用する場合は、地域の協力（見守りサポーター）は不要ですが、電池の持ち、必要な費用などが違います。

電池に関しては、GPS端末の場合は最低でも一週間に一回程度は充電が必要ですが、スマート見守りで利用するタグはボタン電池で動いていて、おおよそ半年は電池交換が不要です。

費用については、GPS端末は月額利用料がかかりますが、スマート見守りでは費用はかかりません。（見守りサポーター側のパケット代のみ）

Q: タグは、どれくらいの範囲で検知できるのでしょうか？

A: タグが発信する電波を遮るものがあるかで変わってきます。見通しの良いところであれば50メートル、街中ではおおよそ30メートル程度です。過去の見守り社会実験での実績も、おおよそその程度になっています。

Q:見守りサポーターが利用するアプリ(SOY LINK)の電力消費はどれくらいでしょうか？

A:サポーターの方のスマートフォン機種によっても異なってきますが、タグから発信される電波の受信とGPSによる位置情報の取得で電力を消費します。ただ、実感としては目に見えて電池の減りが早く感じるほどではありません。

なお、SOY LINK アプリは検索モード利用時のみにGPSを利用することで、バッテリーの消費を抑えることも可能です。Android 端末では、特定時間帯だけ(例えば下校の時間帯のみ)自動的に探索モードにするような設定も可能です。

Q: 子どもが登校した・下校した事は検知できますか？

A: 見守りサポーターの方が学校の近くにいらっしゃれば、検知はできるかもしれませんが、一人でも多くの方が見守りサポーター登録をしていただくと、より細かな検知が可能になります。

Q: 見守りサポーターは、誰を検知したのかわかりますか？

A:プライバシーの問題がありますので、見守りサポーターからは検知した方はわからないようになっています。

Q: 見守りタグは、どこにつけるのが効果的ですか？

A:ランドセルの外にぶら下げた方が検知はされやすくなりますが、なくす・落とすリスクが増えます。ランドセルの中に入れても、多少検知される距離は短くなりますが、検知は可能ですので安全です。

Q:スマートフォン以外では見守りサポーター登録はできませんか？

自営業で店番をするので、店の前を通る子どもたちが見守れないかと考えています。

A:もしWi-Fiが利用できるようでしたら、固定検知器が設置可能かもしれません。

Q: 見守りサポーターは、平日昼間に明治地区内にいる方だけが対象でしょうか？

A:毎日、必ず明治地区内にいらっしゃる必要はありません。

Q: SOY LINK アプリは、古いスマートフォンでも利用できますか？

A: 最新である必要はありませんが、古すぎるスマートフォンでは対応できません。

iPhone の場合 iOS 10.0 以降、Android の場合 Android 4.4 以降のスマートフォンが必要です

Q:過去の実績・エピソードなどはありますか？

A:以前、同じ仕組みを活用して、明治地区内で認知症行方不明者の方を想定した見守りチャレンジを実施しましたが、その際は検索開始から約30分で保護を実現しました。